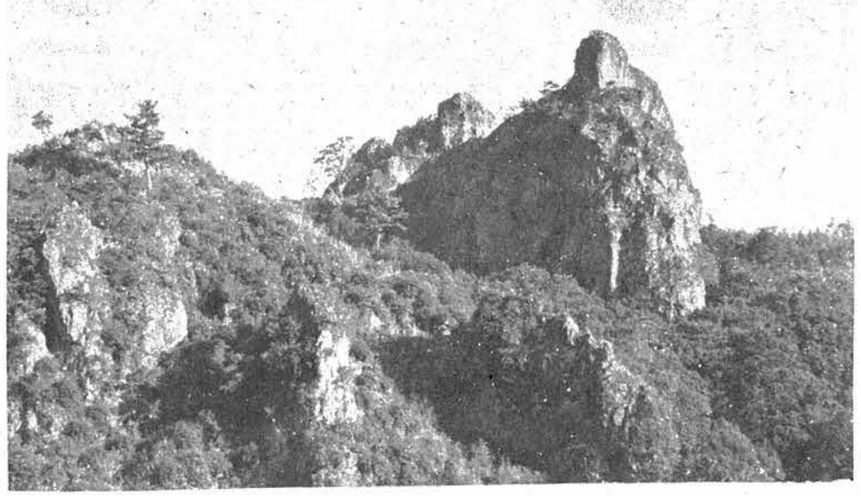
謹賀新年



津奈木の象徴である長半岩。色々の見方もあろうが、巨大な猛禽が大きい獲物を捕りおさえてにらんでいるようにも見える。

津奈木

前安乃吉

発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話（津奈木）24番
編集人　岡松　壮
印刷所　緒方印刷所
八代市通町
電話（八代）代表3118番

熊本県知事選の投票日は一月十五日

年頭の辞

町長　齋藤亀齢

「今年は今年はとて暮れにけり」実に早きものは月日、多きものは仕事なりである。

昭和四十一年を顧みて、構造改善事業が整備の段階に入り、清水琴平、雲雀、川南の四地区においては、防除施設の最後の仕上げに一生懸命である。

柑橘も植えつけられて、今後の成長を楽しみにしている。

広々とした開墾地に黄金色の蜜柑が朝日夕日に照り映ゆる情景も間近い。

干拓事業も用水路と基盤整備の段階となり、いよいよ耕地としての性格をそなえてくるが、其の後の活用については、町会に特別委員会を設けて研究中である。

土木事業も未だかってない開発ぶりを見せ、循環道路の一環としての辻河内線も、本年度内に竣工産業道路としての大泊、浜平及び構造改善地区道路、日添林道・尾上林道・合串福浦の海岸道路等縦横に通じ、その利用度も著しい。

道路のことで特記したいのは、坂越林道の開発に当っては、湯浦町岩本製材所主人の百数十万円の御厚志に対し、満腔の謝意を表する次第である。

道路の補修については今後大いに考えねばならぬことなので、今回ダンプカーを購入して砂利の運搬補塡を機動化することにした。

海岸道路舗装のことは、県議や代議士等の御尽力によって伸展を見せ、来年度は更に長範囲の舗装を予定されている。

津奈木小学校移転問題は頗る難問題で、老朽校舎には新しすぎるし騒音による移転は今まで例がない等の理由で難航しているが、教育上やPTAの熱意等に答えるために、敷地の決定次第に其の実現に努力し、県当局・政府等へも猛運動を展開している。

慰霊塔も土地の選定等でのびびになっていたが、土地も千代塚にきまり、設計も出来上ったので是非今年度中に落成式並びに慰霊祭を同時に施行したい。英霊に報ゆるの道は、見事な塔が出来て万人景仰の的となるよう、御寄付も進んで御喜捨いたゞくようおねがいして止みません。

新年お目出度うございます

役場
町長　齋藤亀齢
助役　松原兼義
収入役　松本金義
総務課長　長浜学
経済課長　丸田繁人
税務課長　元村壮
町民課長　山口登語

町会議員
福村広人　浜本喜楽
釜忠彦　野崎俊光
福島円太　川崎一幸
永里吉香　山口享子
森山勝義　山崎好
諫山貢　山口勲
永田肇　福山義人
諫山繁敏　緒方孝行
諫山保澄　沢田進

教育委員
福島峯雄　田上一智
緒方洋　西保馬
岡松壮　其の実現に

公民館審議委員
千々岩頼母　志崎鳥末
外一同

区長
松永博　高見豊喜
大園一馬　浦口初義
川崎芳人　西川渡
元村秀喜　新立只喜
川野浩　黒山安喜
下田英蔵　松原政義
門崎初義　西平定義
長浜貞彦　野崎順太

福田政彦　千々岩隆志
白坂茂　林田重輝
諫山保澄

民生委員
田上一智　坂本ヨシエ
福田信順　山下清子
山内キミエ　西滋子
吉野ヒサエ　森山シズエ
福村安則

農業委員
門崎善太郎　吉野順
平野正　福山明
寺本一喜　西川三好
西平武　谷村行雄
田島末信　福島末喜
荒木茂太郎　沢田進
岡本秋徳　高木正利
森山勝義

学校長及びPTA会長
津奈木小溝部康世　川崎一幸
赤崎小伊藤文雄　斎藤実信
平国小福島季任　野崎俊光
津南中国武保　釜忠彦

婦人会長
（津奈木）斎藤たま（赤崎）千々岩ちよの（平国）平野シエ

青年団長
（津奈木）石田恒義（赤崎）岩崎慎爾（平国）福山邦彦

公民館職員
浜本繁巳　福崎靖夫
福島安子

昭和四十二年　年頭のことば

土下門　門崎　初義

すべて会合の時指定された時間に開会されることはまれである今年からは今迄の事を捨て、お互に指定された時間に開会の出来る様時間を守ろうではありませんか。

津南中校長　国武　保

混沌たる世相の中で、自分を見失わないことに一生懸命に努力してみたい。

千々岩頼母

昭和四十二年は丁度明治で百年に当り、又孝女千代生誕三百年、そして深水玄門九十年忌に当ります。何かの意義ある行事を皆さんと共に致して記念したいものです。

津奈木郵便局長　竹永儀人

一郵便受の設置宛名完全記載励行
二福浜地区の電報配達の統合
三公衆電話設置で無電話部落解消
四郵便貯金三兆円突破増強運動
五保団体の育成強化と加入促進

教育委員長　福島峯雄

暗いニュースに明け暮れた四十一年もすぎ、新しい年を迎え、津奈木だけでも、今年はそれぞれの立場から明るいニュースで飾れるようお互い頑張りましょう。

教育委員　緒方　洋

未年だ。羊は温和な動物で人を温めるものを持っている。新春と共に温和な町へと、選挙などをひかえ特に念願する一人である。

赤崎小学校長　伊藤文雄

新らしい年の誕生は、人生に明るい希望と生きる力を与える。

自分の使命を再確認し、教育一途に専念し、子どもの幸のために平和で活気ある教育環境の育成に努力したい。

漁協長　高木信行

津奈木町は数年前より山に畑に金のなる木を植付られた。金が降るのも間近になった。海にもやりたい真珠養殖、山畑海より入る金で経済豊かな町へ。

森林組合長　志崎鳥末

治山治水は緑の山から。木を育てることは、国土保全・資源の確保・災害防止、延いては個人経済にも繋がる。而して、自然環境を美化し、さわやかな空気も吸える。おのずから清水も湧出する。

大泊　新立　只喜

町作りの要素は協力である。一人の非協力は悪質な後遺性となって、町の発展を狙害することを体験した。

「ごねどく根性」を部落から追放することに努力したい。

平国　野崎　順太

新春の劈頭に方り、今日こそ再び過去と将来とを一貫する現実生活更新の第一歩を、人に訊ねてお互い反省し、尚本年も町長を中心として、同心協力総てに邁進せられんことを。

三天堂　永里吉香

世間ハ虎侃ナリ仏道真ナリ
三恩ヲ知リ得タリ衆生ノ縁
津南里周ハ　牡丹ノ宿
貧シ苦シミ病ミ老ユルハ誰ヵ独リ占ムルヤ

内野　椎葉　熊雄

新年度より二月十一日を建国祭と制定せられ、国民の建国精神を宣揚することになりました。期日の如何を云々する向きもありませうが、此の日が応はしいと思われます。

桜戸　釜　忠彦

羊の年を迎えました。もの腰やわらかい年にしたいものです。然し、交通戦争が本町にも延びています。何とかして住みよい町にしたいものです。

婦人会長　斎藤　たま

お目出度う御座います。
一九六七年こそ健康でありますように、ハリキッテ、歩け歩け運動を実行したい。公民館の体力測定運動にも参加して。

赤崎婦人会長　千々岩ちよの

ひつじにあやかって、おだやかにニコニコ元気で、皆前進

松原　兼義

「我が生涯に悔なし」此の心境で毎日を過ごしたい。
人々のこゝろこゝろにまかせおき高嶺に澄める秋の夜の月、好きな歌であるからそうありたい。

駅伝は、昨年は1チーム、今年は5チーム、それに優勝した大字津奈木チーム

明るい正しい選挙　標語入選作

一般の部
見て聞いて自信の一票日本晴れ　大泊　増田次好
こんどこそするなさせるな選挙違反　日当　開田行男
欲に迷うな人を知れ大事と思えばよく選べ　平国　野崎順太

中学の部
明るく正しい選挙かけ声ばかりじゃくらい道　一年　石田広人

小学の部
明るい選挙で輪になろう　磯見　勲
明るい選挙はよい子が育つ　竹永順生
正しい選挙は明るいみんなの家づくり　赤小六年　諫山美保子
責任重大　きよき一票　赤小五年　浜田　勝
言われて入れるな　自分で決めろ　平小六年　浜田　勝
選挙はみんなの夢しだい　平小六年　村上義勝

三百五十万円ころげ込む

喫煙者の奉仕

煙草のむ人が、去年一年間に本町に奉仕したお金が三百五十万円です。

つまり煙草を本町の店で買われた金に対して、専売局からの配当です。もし、他町村で買わないで本町からばかり買われたら、その配当はズッと多くなることでしょう。

煙草を津奈木町で買うことによって、知らず識らずの中に、津奈木を富ましていることになります煙草は津奈木で買いましょう。

表彰

県町村会長賞
(1)自治功労者として
町会議員（三期）
福山広人
〃　山口　勲
〃　福島円太
〃　福山義人
〃　諫山　貢

(2)勤続二十年として
役場吏員　下川喜代次

知事賞
国民年金協力賞として
区長　諫山　保澄

ないしょのおはなし　戸締りのこと

岩城駐在所　河田森定

本年もおし迫った十二月十八日〇〇・〇〇・〇〇部落の防犯診断をいたしました。（部落名は伏せておきます。盗人を誘い込むようなものですから）

夜の十一時から始め、一時頃終りました。丁度その夜は小雨そぼ降る中で、みなさん大へんだったろうと思います。

その結果は次の通りです。

診断した戸締数　八一戸
その中
一、戸締りが不完全　四五戸
二、戸締りがしてない　一〇戸
三、窓が開放されている　一戸
四、洗濯物がそのまゝ　二四戸
五、単車自転車そのまゝ　一一戸
六、電灯のつけ放し　三戸
七、ガラス窓の破損　二戸
八、良好の家　二三戸

以上の通りで、百点満点で二五点で、成績はあまり上等ではありません。

年末はどんな事件が発生するかわかりません。どうぞ火の用心と共に確実に戸締りをして下さい。

本年も無事故で、新年も又一層の御協力をお願いします。

参加された方
松本ちほさん・川崎ちえ子さん
山下まさえさん・芦浦三郎さん
伊藤一吉さん・駐在所二人

一、熊本県知事選の投票日　一月十五日
二、熊本県知事選挙は記号式投票
三、知事選挙の不在者投票及び点字投票は、従前どおり自書式の投票
四、不在者投票の期間
十二月二十日～一月十四日まで
五、一人ももれなく投票しましょう

一人ももれなく投票しましょう

藤崎弥熊

田浦町 藤崎弥熊（前 田浦町長）

私はこの数ヶ月間、週に一回は津奈木を通って水俣に行っています。

国道三号線が改良されてから車の利用が多く、高い峠から見る津奈木の景色は、四季こもごもの変化があってなかなか趣きのあるものです。

近頃はみかん園が段々広くなって来ました。甘夏が多いようです。適地の広い津奈木は、もっとみかん園の拡張をはかられる余地があるように思われます。農業には大自然の抵抗があったり、又他の原因のため、業者は消極的になりがちなものですが、お互に励ましあってもっと積極的に大きな組織の農業を営むように努力しなければならないと思います。私の町では、適地が少ないので盛んに他の町村や或は県外にまで進出して土地を求め、みかん園を拡げていますが、津奈木の方は地元に沢山適地がありますので、非常に恵まれておられます。

みかん類のうちでも、芦北地方の温暖な気候に最も適しているものを選ぶということで私達は甘夏を栽培しているのですが、もっと有利な品種が出て来れば勿論甘夏にとらわれないでもいゝのです。気持だけは自由にもって、如何すれば我々の農業を、或は農村の生活を有利な楽しみのあるものに転開して行くかということが、つねに考えて行かねばならないことです。政府も日本の農業を何とか他の農業におとらないようにしたいと色々の便宜をはかってくれているのですから、この機会に新しい農業の基礎をつくらねばなりません。

新年は新しいことを考え、計画するに一番いい時です。そして我々の古い農村にも、新しい力がよみがえって来ることは何よりも楽しみなことです。個人的にもいつまでも元気で活動力をもつためには私達は一生、何かに新しい企画をもつことが大切のようです。古い感情や障害にとらわれないで、新しい農村を造り上げることは楽しいことですし、是非やらなければならないことです。

津奈木の峠から広い津奈木の里を眺めてつくづくそんな気持になります。今一段の御努力を祈ります。

暴言多謝。

鳥居正直

湯浦町 鳥居正直（前 湯浦町長）

年頭に当り平素の御無沙汰を多謝致しますと共に、益々の貴町の伸展と皆様方の御清祥を祈念致します。

先般、本紙に「津奈木を截る」の意味で、忌憚ない批判の声を送れとの依頼がありましたが、私は此の題ではどうしても書けませんので、牧挙に遑ない思出の中から其の一部を記して、津奈木をなつかしみたいと思います。

津奈木は私の親類縁家の最も多い町であります。親しい友達や恩義を受けた人の一番多いのも亦この町で御座います。これは独り私ばかりではありません。私共の町は久木野大野佐敷とも境しておりますけれども、昔から今日まで貴町との縁組が一番多い事は、皆様御承知の通りでありまして、その、お嫁さんは津奈木からの方が多い様に想われます。そして、其のお嫁さんの来られた湯浦の家々は、殆んど全部が家庭円満、家運隆昌で、昔からよく言われた津奈木女の美さを遺憾なく発揮して居られます。この様に、両町間の縁組が数多く善い結果を産んでいる事は、両町の人情風俗が最も類似しているためであり、且つお嫁さんの善良さは、孝女千代さんの偉大な遺徳に訓化されて居られる、からではないでしょうか。私は抜群の自治功労者である前斉藤村長と、御舎弟が名誉の戦死をなされた当時、汽車に同乗した事がありましたが、その時村政の抱負を語られた後、「鳥居君、君に教えたい今ばやりの歌がある。君も覚えて歌ってくれ」と渋くて低い小さな声で眼には小さい露を光らせながら歌い出されたのが『泣くな、嘆くな必ず帰る、桐の小箱に錦着て、会いに来てくれ九段坂』の白頭山節だったのです。私は其の時前村長の弟への溢るる愛情の強靱さと、愁傷の深きに感銘して津奈木男の美さに惚れこんだのでした。

津奈木を切る

今年は、他町の方に、自由な立場で津奈木町の批評をしていただきました。

どなたも御多忙の方々ですが、貴重な原稿を送って下さいました。

櫨本孝次郎

水俣高校長 櫨本孝次郎

「快速熊本」中に住む町民は、昔から精神的レベルが高く、勤勉なことを知っている私にはとても好ましく思える。

津奈木といえば私の思い出に残る人が幾人かある。特に椎葉関二郎先生、千々岩頼母先生、斉藤亀齢先生は私を今日あらしめた恩人と思っている。椎葉先生は、私が水俣の高等小学校二年の頃の御担任で、引っ込み思案であった私を師範学校へ進ませて下さったのは先生のお蔭である。また千々岩先生は、昭和八年水俣小学校に勤めていた頃教頭であられたが、先生は仕事のためには時間を超越して働かれ、その姿には感動したものであり、教師としての心構えを教えて下さったと思う。斉藤先生は熊本で永く視学をされ、その後、城東小長県教育委員と歴任されたが、郷土の後輩をよく可愛がられ、私が熊本市の指導主事となられたのも先の知遇によるものと思っている。また、友達で津奈木出身者は、谷村忠継君、西正弘君であり、若くして逝った松崎亨君は大の仲よしであった。その他、津奈木からは教育者として立派な人材が幾多輩出し、芦北水俣の教育界をリードしたものである。この町の精神的風土が道徳的であり、教育を重んずる風潮から生れたものであろう。

私は、郷土を考える場合、美しい自然や旧知の人々、あるいは風習などをなつかしむ自然的感情的郷土愛と祖先伝来の土地を温存墨守するのでなく、思い切って道路を作り、従来の山林やいも畑を蜜柑畑に開拓して、郷土を、よりよく改造していく発展的郷土愛があって、そのいずれも大事なものと思うが、国道三号線をバスで通りながらあの孝女千代の哀しい物語にあるこの津奈木が、今や馬でなく耕耘機やコンバインに変りつつある景観を見る時、現代の町民の力強さを感ずると共に、また一面千代女のあの精神的なものは、永久に津奈木の人々の心の中に生かしてほしいものと思っている。

徳永孝志

水俣市 徳永孝志（元 津小校長）

よく考えて見ますと、私は津奈木とは全然関係が無いとは言えないのです。祖父迄は津奈木に居住して先輩の方々に大変御世話になって居るし、祖先の墓地は勿論祖父の墓も西の迫に現存して居るのですから……従って他人事とは思えず、大なり小なり津奈木のことといえば深い関心をもつ一人であります。その私が関係のない立場で書けというお誘いを受けて実は困りましたが、折角のお誘いだから率直に書くことにしました。

由来、津奈木町は歴代先輩為政者の善政によって、孝女節婦を多数出しております。所謂文教の地として其の名広く天下に知れ渡って居ることは言うまでもありません。又産業方面においてもこの発展は決して他に後れをとっていないのであります。殊にあの広大な干拓事業の完成、柑橘園の造成等今後産業の発展にどれほど大きく貢献するか計りしれないものがあります。

之はすべて醇厚美俗・質実剛健・勤労意慾の旺盛等人情味豊かな津奈木町民性の現われであり、伝統であると信じます。

この様な立派な長所を有しながら、一面早くから政争の激しい所と聞かされて居る事はどうしたことでしょうか。

過去はともあれ、今後津奈木町発展の為めにはこの殻から早く脱却して、大同につく和の精神文化の向上を培うことこそ、最も大切なる事ではないでしょうか。既に国道三号線の完通は隣接地の距離感が全く無くなって来ました。まして近く鉄道が複線化すると益々其の感が深くなります。いつまでも旧藩時代の様にそのまゝ一城に閉じこもる必要もなくなって来ました。もっと大きな視野に立って、津奈木町将来を考え如何にすればよりよく津奈木町発展に貢献することが出来るかということを、真剣に考えねばならない時が来たのではないかと感じます。

津奈木町の皆さんの良識を信じて率直に申しました。誠に申訳ありませんが、唯町民の一人としての意見であるということで御許し下さい。

多謝

津奈木を切る

田中　典次

田浦町 田中典次（県会議員）

赤崎で待望の林道起工式に、ほんのちょっとおくれて行ったら、時間通り式典が始って居た。

浜平農道の起工式もほんの少しおくれて心配しながら参列したらまた開会式におくれて恐縮した。

今度こそと大泊の農道の起工式には時間より早目に出掛けた。定時に式が始ったのには全く感心せずには居られなかった。

"町長さん、津奈木の時間励行は大したものですね"と敬意を表したら"これは蟻川神宮さんの主義ですよ"との事であった。

時間励行―これこそ津奈木の世に誇るべき最大の宝ではありますまいか。

××××××××

名物にうまいものなしと言い、名所と言っても行ってがっかりする所がある――二見ヶ浦の様に―。名所でずばぬけて素晴らしいのが箱根であり芦ノ湖である。箱根では歴史が私達の脳裡を走馬灯の如くかけめぐり、無限の感慨にふけらせる。

そして更に忘れられないのは、杉並木に大正十一年イギリスの貿易商パニイ氏が建てた石碑で、この碑には徳川幕府時代長崎にオランダの医者として来て居た独乙人ケンピアの書いた日本歴史の書「東洋の島国」――一七二七年ロンドンで出版――という本の序文が記されてある。

あまりにも感銘深いものであったから、ここに御紹介すると、本書は隆盛にして強大なる帝国の歴史なり、本書は勇敢にして不屈なる国民の記録なり、其の人民は謙譲勤勉敦厚にして其の拠れる地は最も天恵に富めり。

新旧両街道の会合する此の地点に立つ人よ、此の光栄ある祖国を思い更に美しく尊くして、卿等の子孫に伝えられよ。

右の文は二百余年前外国の歴史家が、私達の祖国日本を賛美した名文である。

私は松本敏先生が斉藤藤吾村長の胸像に残された左の碑文と共に長く子孫に伝えられるべき双璧と思う。

功業は竹帛に垂るる記録あるも村民の実情は朝暮に君を偲ばん。来苦を頒つも君が盛時の栄光に浴するの機は鮮少なりき而も言わで憶み難き一事は彼の六車永里の両俊英も尚且能わざりし干拓を敢行し沿岸の諸公より一言善の余徳に外ならず壮時十分に志を得ざりし頃相携えて電灯問題に関し永里六車両首大章義敏氏等々水俣津奈木の両町村民を向うにして所信に邁進した。颯爽たる君が風貌を想望する一九六三年初春　松本　敏

津奈木町 米づくり振興大会

十二月八日中央公民館ホールで米づくり振興大会が行われた。（町と農協の共催）入賞者には町長から賞状と大きい賞品が渡された。（受賞者後記の"とおり）なお上位入賞者には、郡会長や、チッソ会社からも賞を贈られた。

審査長大園正就普及所長から審査報告を兼ねて次のような重要な話があった。

四十二戸

みかんと水稲をそれぞれ十アール以上作っている者を条件として米づくり運動に参加された人四十二戸

多収かくの秘訣

十二月八日中央公民館ホールで米づくり振興大会が行われた。（町と農協の共催）入賞者には町長から賞状と大きい賞品が渡された。（受賞者後記の"とおり）なお上位入賞者には、郡会長や、チッソ会社からも賞を贈られた。

審査長大園正就普及所長から審査報告を兼ねて次のような重要な話があった。

四十二戸

みかんと水稲をそれぞれ十アール以上作っている者を条件として米づくり運動に参加された人四十二戸

多収かくの秘訣

(一)直播きすること。四十二戸の中三十三戸が直播、その中九俵以上が十五戸、(受賞者の約八割が直播）直播の効果以て知るべし。

(二)品種は「ほうよく」「有明」であること。受賞者十二戸中十一戸がこの品種であった。

(三)株数は坪七十株くらいであること。今までの約三割増の株数にする。

(四)施肥は追肥に重点をおくこと。元肥に重点をおくのはワラ取りにしかならない。

(五)病虫害を徹底的に防除すること

受賞者

横綱　田中敏男　きぬえ

大関　永田　肇　さえ

山崎　好　和　子

関脇　山路　通　と　み

秋田元雄　まきえ

斉藤伍助　のぶ子

小結　山崎百年・良子、福崎国光

とみ、吉永鹿吉・あさの

村上貫彦・ヨシモ、

野田　寛・浦子、吉本勝記

前頭　千鶴子

（田口敏男夫妻）

町民体育デー

十二月四日に実施した町民体育デーは、出場は駅伝で五チーム（一チーム不参加）、ソフトボール十一、バレーボール十一と、昨年に比べてはるかに増加し、熱狂裡に終った。成績次の通り。

○駅伝

一位　津奈木　二位　川南

三位　平国

○ソフトボール

一位　浜崎　二位　小津奈木

三位　染竹　三位　新川

○バレーボール

一位　上下門　二位　浜崎

三位　染竹　三位　竹中

黒い霧の大陸版

松原兼義

紅衛兵の文化大革命で世界の注目を惹き、今や近代国家の代名詞みたいに成長した中国でも、一寸歴史をさかのぼり、明朝、清朝時代になると、まさに汚職天国、一ケ年も要位に就けば、生涯左団扇の生活が出来るほどの実入りがあったと謂われ、昨今日本で大流行の政治汚職なんどは、幕下級？であったことは東洋史が実証している。

これについて面白い話がある。昭和の初期満洲の熱河一帯を制覇した、例の蒼将軍こと張宗昌という怪物が、これ又満洲に君臨した張学良に逐われ、日本の別府に亡命したことは有名だが、この別府で第十八号婦人を娶ったことも屈知のこと、その大人が、又逃れて旅順にやって来て寓居を定めた。当時旅順は日本憲法の及ぶ所で、所謂政治亡命だからいわば落魄の身である。

其処は私の受持管内だった。この蒼将軍について「三不知三多」という耳慣れない尊称があった。

これを直訳すると、自分で知らざること三つ、多過ぎること三つ、一つは自分の財宝がいくばくなるかを、無限大の額か、それとも文無しか。二つには自分の妻妾の数を。別府で得た日本美人は十八夫人と噂されたが、事実は第二十八号夫人と説く人もある。当時彼等の家族制度では、例え二十八人の女が居ても、我等の観念で見る側妾では決してない。その全員が歴とした妻である。従って何れも正式に結婚式を挙げて迎える。その婦人の数を知らぬ。三つには麾下軍隊の数を知らない。凡そ五万人かはた又百名か、まことにとぼけた話だが、日本史の戦国時代を上廻る妙な話である。

三多とは、将軍は兵より多く、兵は銃より多い、そうして銃は弾より多い、どこかの国の敗戦直前でも、これほどまではなかったやうである。此の先の話は次にして下さい。

上はソフトボールに優勝した浜崎チーム
下は強豪倉谷チームを破った上下門チーム